



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月26日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7477 URL <https://www.muraki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 加瀬 光二 TEL 042-357-5610  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,759	△4.5	26	△14.2	29	△11.8	13	△18.5
2019年3月期第1四半期	1,842	△6.9	31	91.7	33	72.1	16	131.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 13百万円 (△17.8%) 2019年3月期第1四半期 16百万円 (53.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.25	—
2019年3月期第1四半期	11.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,017	2,184	54.4
2019年3月期	4,255	2,178	51.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,184百万円 2019年3月期 2,178百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,549	△0.8	8	△64.5	13	△53.4	△10	—	△7.04
通期	7,288	△1.1	77	△2.1	89	△6.9	30	△43.0	21.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	1,470,000株	2019年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	50,301株	2019年3月期	50,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	1,419,699株	2019年3月期1Q	1,419,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資に一部陰りが見られ、個人消費マインドの悪化が懸念されつつも、堅調な雇用・所得環境を下支えに緩やかな回復基調を維持しております。

一方、海外では米国の保護貿易への懸念、中国経済の動向及び日韓関係の緊張の高まりなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においては、一部の地域に燃料価格の安値競争が再燃しているものの、大手石油元売会社の経営統合効果は継続され、概ね市況は安定しております。また、6月には全国のJXTGがエネオスブランドへ統一され、カーケア収益の強化と店舗の快適空間をテーマとした運営を目指す方針が打ち出されました。これは当社が従来より取り組んできた営業方針であり、今期の業績に反映するものと思われれます。出光昭和シェルにつきましても、カーケア収益の強化は必然であり、今後も連携を図りながら営業活動を継続し業績向上を目指します。

このような環境のもと、当社グループのカーケア関連商品の売上につきましては、オイルエレメント、ワイパーブレードは予測を下回ったものの、バッテリー、洗車関連商材、ノベルティ商材は堅調に推移いたしました。

また、昨今あおり運転や誤操作による事故が多発しており、自動車の安全運転装備に関する商品が注目されております。当社グループといたしましても、自動車事故削減への取り組みの一環として、またSSでのカーメンテナンスにおける重要アイテムとして提案してまいります。

SSでの設備投資にあたる設備機器、整備機器類は引き続き順調に推移しております。

当社グループは、今後も既存顧客に対し基本営業の徹底を継続し、顧客ごとの環境、状況に合わせた個別提案営業を行うことでSSの収益力アップを図るとともに、ドミナント戦略による新規顧客の開拓をはじめ、高付加価値商材の提案を通じて更なるシェア拡大に取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 1,759百万円(前年同期比 4.5%減)、営業利益 26百万円(前年同期比 14.2%減)、経常利益 29百万円(前年同期比 11.8%減)、法人税等 16百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は 13百万円(前年同期比 18.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は 2,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ 231百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が 165百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は 1,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ 6百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が 2百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は 4,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ 238百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は 1,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ 177百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 146百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金が 52百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は 648百万円となり、前連結会計年度末に比べ 66百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 64百万円減少したことと、退職給付に係る負債が 3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は 1,832百万円となり、前連結会計年度末に比べ 244百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ 6百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が 6百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.4%(前連結会計年度末は51.2%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日付「2019年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたならば、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,443,330	1,497,055
受取手形及び売掛金	956,122	937,697
商品及び製品	632,465	466,622
その他	138,976	37,475
貸倒引当金	△493	△95
流動資産合計	3,170,402	2,938,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	799,259	799,259
減価償却累計額	△739,425	△740,668
建物及び構築物(純額)	59,833	58,590
機械装置及び運搬具	8,245	8,245
減価償却累計額	△8,099	△8,104
機械装置及び運搬具(純額)	145	140
土地	480,711	480,711
その他	149,175	139,052
減価償却累計額	△126,265	△118,075
その他(純額)	22,910	20,976
有形固定資産合計	563,600	560,419
無形固定資産		
のれん	70,754	69,714
その他	3,834	3,430
無形固定資産合計	74,588	73,144
投資その他の資産		
投資有価証券	134,323	134,620
差入保証金	292,089	292,249
繰延税金資産	13,185	10,762
その他	10,076	9,934
貸倒引当金	△2,668	△2,664
投資その他の資産合計	447,006	444,902
固定資産合計	1,085,196	1,078,466
資産合計	4,255,598	4,017,221

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	775,274	628,742
1年内返済予定の長期借入金	440,815	388,324
未払法人税等	33,677	19,493
賞与引当金	33,704	6,629
その他	78,281	140,702
流動負債合計	1,361,752	1,183,891
固定負債		
長期借入金	372,279	307,308
役員退職慰労引当金	38,730	40,700
退職給付に係る負債	278,999	275,358
繰延税金負債	21,495	21,495
その他	3,760	3,760
固定負債合計	715,263	648,622
負債合計	2,077,015	1,832,513
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	220,838	226,871
自己株式	△47,732	△47,732
株主資本合計	2,172,410	2,178,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,171	6,264
その他の包括利益累計額合計	6,171	6,264
純資産合計	2,178,582	2,184,708
負債純資産合計	4,255,598	4,017,221

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,842,572	1,759,452
売上原価	1,386,663	1,329,423
売上総利益	455,909	430,028
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	206,549	196,135
賞与引当金繰入額	6,877	6,629
役員退職慰労引当金繰入額	2,070	1,970
その他	209,407	198,691
販売費及び一般管理費合計	424,904	403,426
営業利益	31,005	26,602
営業外収益		
受取利息	338	403
受取配当金	563	686
仕入割引	2,557	2,459
貸倒引当金戻入額	417	402
その他	969	840
営業外収益合計	4,846	4,791
営業外費用		
支払利息	1,566	1,124
手形売却損	127	147
その他	175	165
営業外費用合計	1,869	1,438
経常利益	33,982	29,955
特別利益		
固定資産売却益	787	—
特別利益合計	787	—
税金等調整前四半期純利益	34,769	29,955
法人税、住民税及び事業税	17,195	14,441
法人税等調整額	1,460	2,382
法人税等合計	18,656	16,823
四半期純利益	16,113	13,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,113	13,132

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	16,113	13,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	92
その他の包括利益合計	△25	92
四半期包括利益	16,087	13,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,087	13,224
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	カーケア関連 商品販売	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,837,620	4,951	—	1,842,572
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	19,560	△19,623	—
計	1,837,683	24,511	△19,623	1,842,572
セグメント利益	30,249	455	300	31,005

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」等の事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額300千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

当社グループはカーケア関連商品販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。